

New Hope

札幌ペンテコステ教会ニュース

2023年8月

「神様」って、信じる人の心の中だけに存在するもの、言い換えれば、ほんとうは存在しないんだけど、人の心の安定を保つよりどころとして、存在するかのように扱われるもの、そういう風に思っている人は多いのではないのでしょうか。

何か困ったことだとか切実な願いを持つ人が八方手を尽くした上で最後の拠り所として神仏に参拝する。その誠意を具体的に表してご利益を求めようとしてお布施をする。そこに祀られているのがどういう神様かはともかく、願いを叶えてもらったら儲けものくらいな気持ちで手を合わせる。昔から受け継いできたものだから、実態はともかくとして、心情として大切にする。

「宗教なんて、あんまりのめり込んじゃダメだよ。程々に、ね」

そんな言い方をする人もいますね。その人にとっては、ボランティアとか町内会とかサークルとか趣味だとか、その類と同じような位置づけなのでしょう。まともなものも変なものいろいろあるからよく見極めた上で、あんまり深くない付き合いに留めておくといいいよ、というわけです。

確かに、「宗教」と呼ばれている団体や組織の中には、社会的な問題を起こしたり、所属信者の家庭を破壊したり、犯罪行為を行ったりして報道に上るものも後を絶たず、「胡散臭いもの」と捉えられるのも当然なのかもしれません。「キリスト教」と自称する団体であっても、実態は指導者の独裁体制のもと「カルト」化しているところもありますし、宗教裁判や魔女狩り、免罪符、植民地支配や奴隷制度との協力、ナチスドイツの支援など、負の歴史が多くあることも知られているとおりです。

「気休め」じゃないんです

でも、縁あって教会に導かれて、イエス・キリストを知って現在を過ごしている者として皆さんにお伝えしたいのは、聖書に示されている創造の神は、たしかに実在しているということ。そして、預言されていた通りに、キリストがこの世に来たということ。決して「気休め」の存在ではない、ということです。

イエス・キリストが十字架刑で死に、3日目に復活して多くの弟子たちとともに過ごし、その後に見ている前で天に帰ったその後。「死人が復活するわけじゃないか」そう言って疑問を呈する人たちに対して、使徒パウロは語っています。

もしわたしたちが、この世の生活でキリストにあって単なる望みをいただいているだけだとすれば、わたしたちは、すべての人の中で最もあわれむべき存在となる。

もしも「イエス・キリストを信じています！」というのが、ただの思いこみの希望であったとしたら、クリスチャンというのは憐れな存在です。ありもしないモノを信じて、あり得ない死人の復活を信じて、罪の許しや永遠の命を信じて、人生を無駄にしているだけの変人ということになります。

でも逆に、聖書の語る創造主である神様とイエス・キリストが実在するとしたら、その神様を無視して、自分勝手に過ごすことで一生を台無しにして、やがて永遠の裁きに苦しむ、ということでもあります。皆さんは、どう思いますか。いろいろなものを参考にするにしても、まずはご自身で考えてみてはいかがでしょうか。

祈ってみましょう

神仏や宗教について、ちゃんと考えてみたことはありませんでした。本当の神様というものがあるなら無視できないと思いますし、でも偽物など信じたくありません。神様が実在するなら、どうか私にご自身を示してください。イエス・キリストについて理解できるように助けてください。また、偽物の霊に惑わされることがないように守ってください。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南14条西18丁目4-5

(TEL&FAX 011-561-5072)

<http://sapporopk.com/>

教会の定期集会のご案内

聖日礼拝 毎週日曜日 10:30~12:00 頃

祈禱会 毎月第3木曜日 19:00~20:00 頃

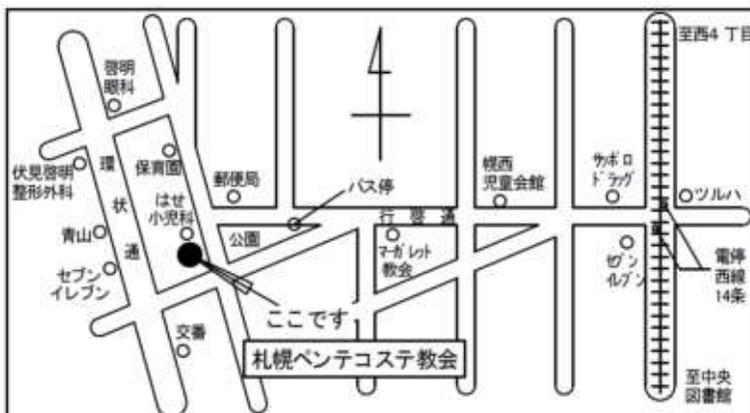
札幌ペンテコステ教会 <http://sapporopk.com> (右のQRコードから)

NewHopeのバックナンバー、礼拝のYoutube動画などもあります。

日本聖書協会 <https://www.bible.or.jp>

『聴くドラマ聖書』アプリ <https://graceandmercy.or.jp/app/>

ドラマ「The CHOSEN」 <https://www.angel.com/watch/the-chosen>



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車
JR札幌駅札幌ターミナルから
JR北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車

駐車スペース有